



川口けいすけのグリーンズ川越

編集/発行 川越市議会議員 川口 啓介

〒 350-8601 川越市元町1-3-1 川越市役所6F 無所属議員控え室

TEL 080-3025-5776 FAX 049-227-3810 E-mail kawaguchi-keisuke@outlook.com

96
SINCE2003

16年ぶりの市長交代

～川越市の向かう先は～

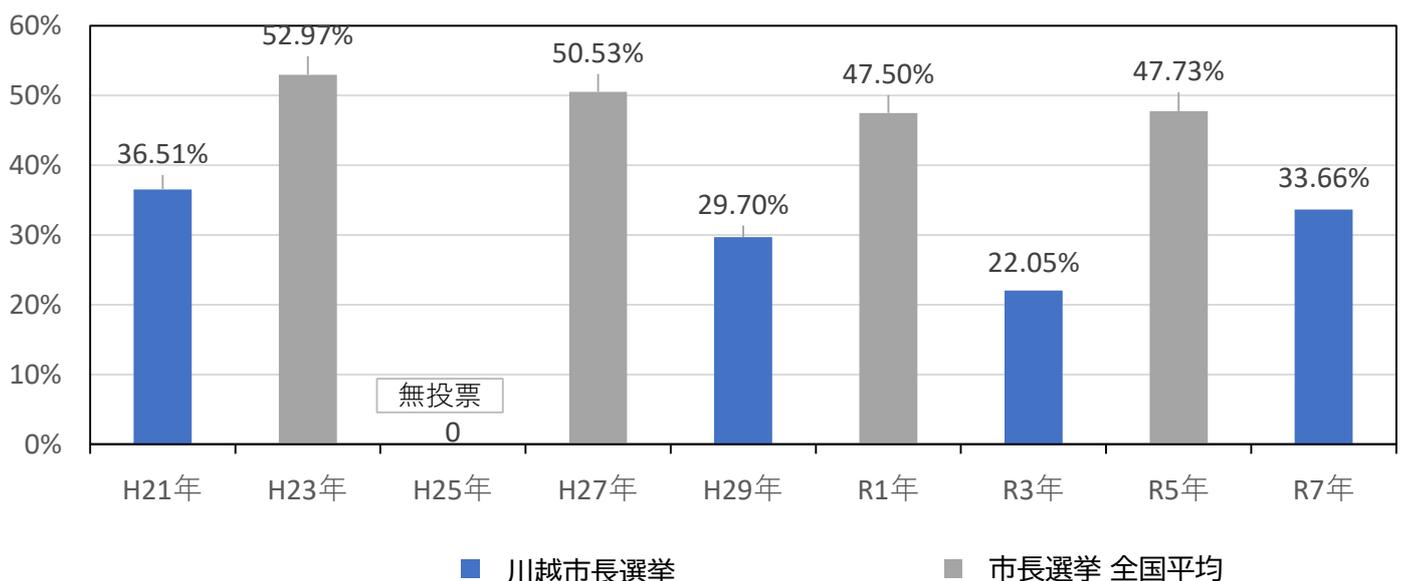
1月26日に行われた川越市長選挙において新しい市長が決まりました。16年ぶりの市長交代(2月7日任期満了)です。川越市がどのように変わっていくのか。4人の新人が立候補した今回の市長選において、市民が何を求めた結果なのか。

市長は議員とは違い行政事務の執行権を持っています。市長1人の考えで全てが決まるわけではありませんが、市長の方針は予算執行に大きな影響を与えます。来年度予算については素案が川合市長体制下で作られているため、新市長の考えを大きく反映させることは難しい側面もありますが、行財政についての考え方は3月議会において示されることになると思います。(ちなみに、私のスタンスはこれまで同様、是々非々です。)

下のグラフは川越市長選挙と、統一地方選(4年に1度、地方自治体で一斉に実施する選挙のこと)時に行われた全国の市長選挙の平均値です。全国の市長選挙の投票率は4回の選挙で右肩下がりに10.9%下がっています。川越市を見ると平成21年の選挙は、前任の船橋市長任期満了・退任に伴い、新人2人により争われ、川合市長が誕生しました。平成25年の選挙は、対立候補が出ず無投票。平成29年、令和3年の選挙は川合市長が3選・4選を決めた選挙で、今回、令和7年の選挙は、平成21年と同様、現職市長の任期満了・退任に伴う選挙でした。当時と比べ、投票率は約8.5%下落しています。

選挙とは、私たちの代表を選び私たちの意見を政治に反映させるためのものであり、私たち一人ひとりが選挙に関心を寄せることで、選挙はもっと身近なものになります。政治の一番の役割は税金の使い道を決めることにあります。今回も市民の約66%は選挙に参加しておらず、自ら政治を遠ざけています。政治に意見を言う権利を放棄し、税金の使われ方に無関心であり続けることが、明るい未来に繋がるとは私には思えません。皆さんはどうお考えですか？

市長選投票率 ～川越市と全国平均～



川越市長選		市長選全国平均	
H21年	36.51%		
H23年		H23年	52.97%
H25年	—		
H27年		H27年	50.53%
H29年	29.70%		
R1年		R1年	47.50%
R3年	22.05%		
R5年		R5年	47.73%
R7年	33.66%		